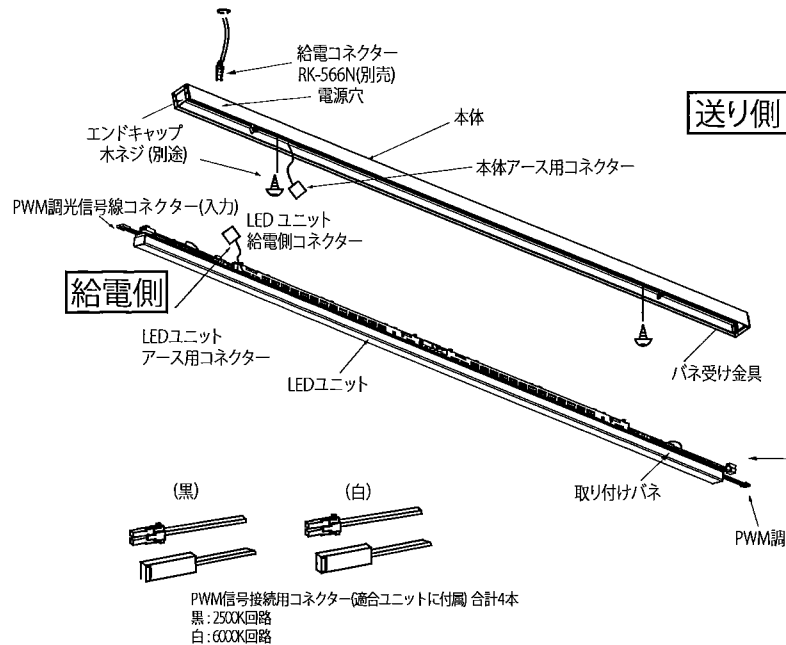


[型番] ERK9864S, ERK9865S  
RK-566N, RK-559N, RK-560N, RK-581N, RB-485S

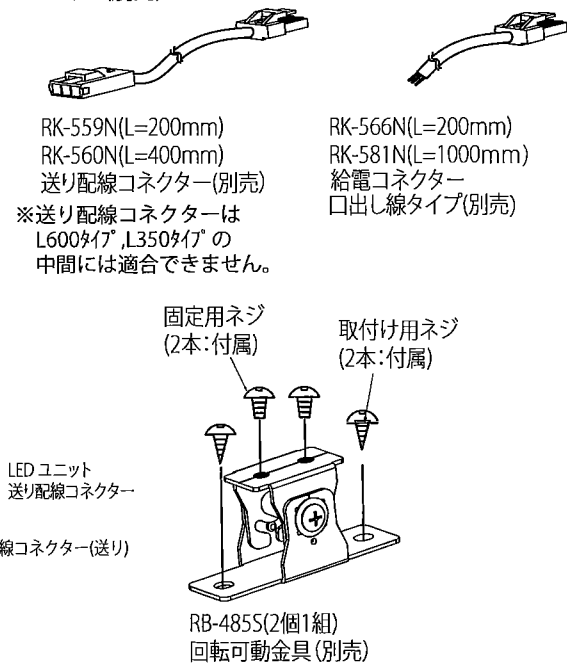
## ◆各部の名称

・直付けタイプ



・オプション(別売)

送り側



この図は一部省略抽象した共通部品図です

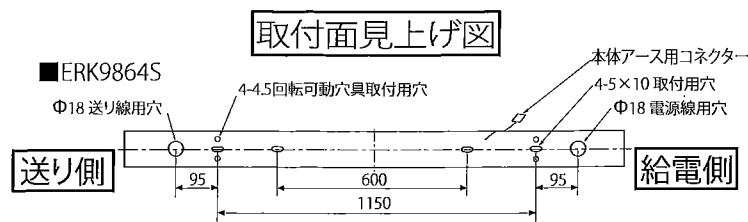
## ◆LED光源について

・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

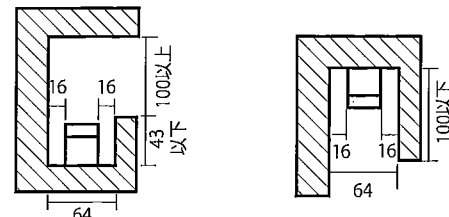
## ◆PWM信号制御方式の器具について

・調光した状態で、電源スイッチ(PWMライトコントローラーのスイッチ)を入り切りした場合、一旦明るくなった後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。  
・弊社指定の調光コントローラー以外で使用しないでください。

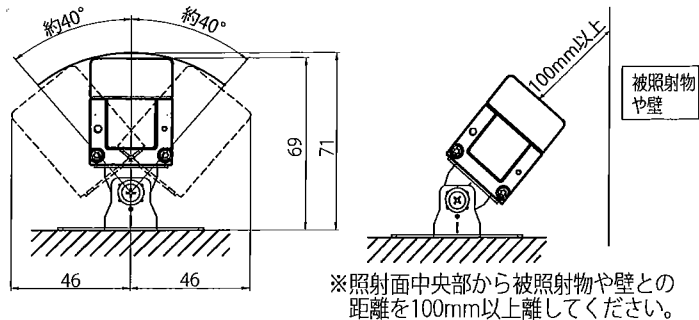
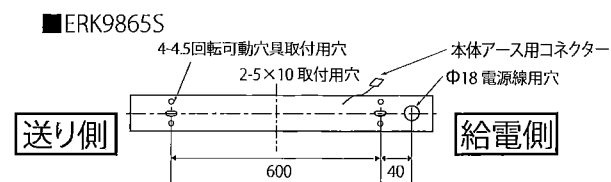
## ◆取付寸法



■最小施工寸法 (単位:mm)



●取付金具可動範囲(別売の可動タイプ取付金具RB-485S使用時)



ERK9864S-T\_6版

## ◆取付方法

### 1. 取付けの準備

●安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

●この器具は天井取付、上向き取付、壁面横付が可能です。

●器具重量に耐えるよう取付面の強度を確保してください。

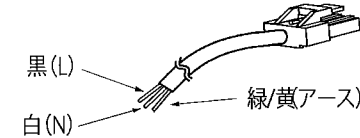
△ 取付部の強度が不十分な場合は、器具落下の原因となります。

●電源線と給電コネクタ(別売:RK-566N、RK-581N)を結線してください。

●絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行なってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。



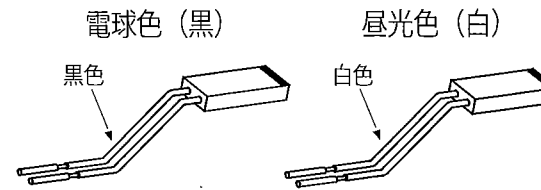
<RAD693XA, RAD695XAを使用する場合>

●6000K回路、2500K回路の調光を別々に調整することで配光色を調整することができます。

●調光調色を行なうにはPWM調光信号制御器が2台必用です。

●PWM調光信号制御器(別売)で調光する場合は調光信号線(CPEV-1P/0.9)をPWM信号接続用コネクタと接続してください。

●昼光色(6000K回路)を制御するPWM調光信号制御器(別売)は白色線のPWM信号接続用コネクタと接続してください。電球色(2500K回路)は黒色線のPWM信号接続用コネクタと接続してください。



PWM信号接続用コネクタには極性はありませ

●必ず専用の調光信号制御器(仕様図またはカタログをご参照ください)と組み合わせてご使用ください。

※調光率による明るさ、色温度についてはカタログをご参照ください。

### 2. 本体取付方法

●電源穴から電源線に接続した給電コネクタを器具内に引き込んでください。

●電源穴から調光信号線に接続したPWM信号接続用コネクタ(電球色)を器具内に引き込んでください。

●木ネジ(2本)で本体を取付面に確実に取り付けてください。

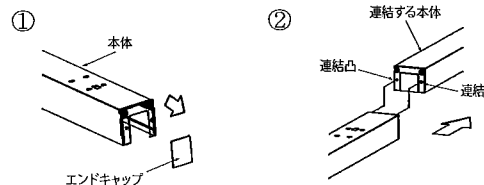
●取付用木ネジは別途ご用意ください。

<連結の場合>

●送る側の器具本体の送り用エンドキャップを送られる側の器具本体の給電用エンドキャップを取り外してください。

●器具本体側面の連結部の凸と凹を突き合わせてください。※器具本体の送り側と給電側が向き合うように施工してください。

●突き合せた状態で取付面に木ネジで確実に取り付けてください。

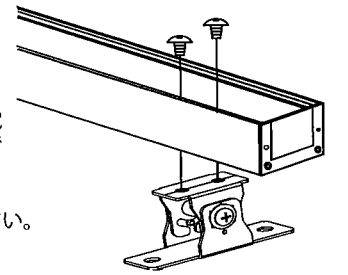


<回転可動金具を使用する場合>

●本体の回転可動金具取付用穴に回転金具を固定用ネジ(付属)で固定してください。

●電源穴から電源線に接続した給電コネクタを器具内に引き込んでください。

●回転金具を取付用ネジ(付属)で取付面に確実に取り付けてください。

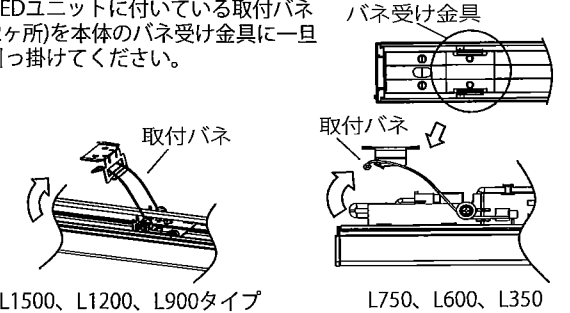


### 3. LEDユニット取付方法

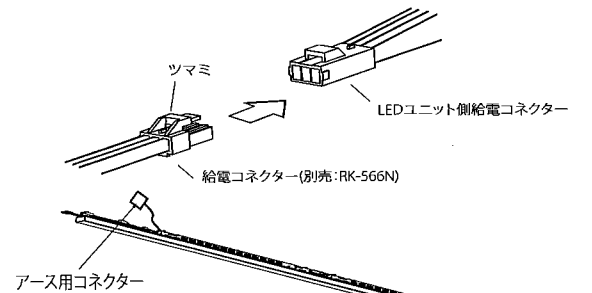
●ユニットには向きがあります。本体とユニットのアース用コネクタ

の位置を合わせてください。

●LEDユニットに付いている取付パネ(2ヶ所)を本体のパネ受け金具に一旦引っ掛けてください。

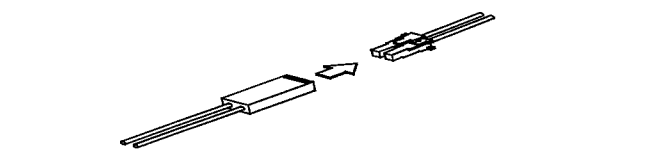


●LEDユニット側給電コネクタに、電源線に接続した給電コネクタを確実に差し込んで接続してください。また、本体側のアース用コネクタと、ユニット側のアース用コネクタを接続してください。



<RAD693XA, RAD695XAを使用する場合>

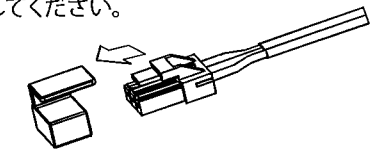
●PWM調光信号コネクタ(入力)と電源穴から通したPWM調光信号線を確実に差し込み接続してください。



△ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

<連結の場合>

●送る側のLEDユニット送り配線コネクタについているフタを取り外してください。



●送る側のLEDユニット送り配線コネクタと送られる側のLEDユニット給電コネクタを確実に差し込み接続してください。

●PWM調光タイプ・快適調色タイプの場合はPWM調光信号コネクタ(送り)とPWM調光信号コネクタ(入力)を確実に差し込み接続してください。送り側と入力側のケーブルの色は合わせてください。

●LEDユニットを持ち上げて本体にセットしてください。

△ 取付けに不備があると落下の原因となります。

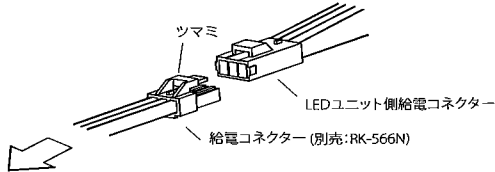
## ◆LEDユニットの交換方法

- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

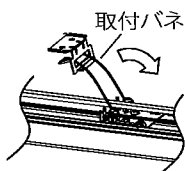
△ 感電の原因となります。

△ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDユニット交換はしないでください。やけどの原因になります。

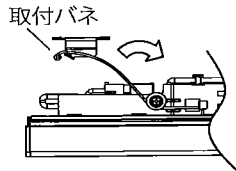
- LEDユニット側バネが本体のバネ受け金具に引っ掛かるまで引き下げてください。
- ツマミを押しながら給電コネクタをLEDユニット給電コネクタから引き抜いてください。



- LEDユニットの取付バネを本体バネ受け金具引っ掛け部から取り外してください。
- 交換用のLEDユニットを、取付方法3.LEDユニット取付方法を参照して取付けてください。



L1500、L1200、L900タイプ



L750、L600、L350タイプ

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について △ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。